

ベニイトトンボ *Ceriagrion nipponicum* Asahina の北広島町における採集記録

坂本 充

広島市森林公園昆虫館

Red Damselfly *Ceriagrion nipponicum* (Odonata, Coenagrionidae) Newly Recorded
from Kitahiroshima-cho, Inland Part of Hiroshima Prefecture

Mitsuru SAKAMOTO

Insectarium, Hiroshima City Forest Park

173 Fujigamaru, Fukuda-cho, Higashi-ku, Hiroshima 732-0036

Abstract : *Ceriagrion nipponicum* Asahiana has hitherto been known from only two points of the southern part in Hiroshima Prefecture, and it was recorded for the first time from Kitahiroshima-cho of the northwestern part on August 2008.

©2009 Kitahiroshima-cho Board of Education, All rights reserved.

ベニイトトンボ *Ceriagrion nipponicum* Asahiana (トンボ目, イトトンボ科) は, 国内では本州: 宮城県以南, 四国, 九州に分布する暖地性の種である. いずれの生息地域においても同属のキイトトンボ *C. melanurum* Selys に比して生息地は局地的で, 環境省が公表した昆虫類レッドリストでは絶滅危惧 II 類 (VU) に選定されている (環境省 2007). 中国地方では山口県, 広島県および島根県から記録されており, 山口県では主に中西部で多数の生息地が確認されているが (池田 1969, 1988, 平田 1993, 原 1994, 久重 1996, 山口県立山口博物館 2006, 杉村ほか 2008), 島根県では益田市飯田町のみが知られ (宮本・宮本 2008), 広島県における既知生息地は呉市北部 (神垣 2004) と江田島市古鷹山 (神垣 2006) の 2ヶ所に限られる. 2008 年 8 月, 筆者は北広島町今吉田において本種を採集したので, 広島県における内陸部からの初めての記録として報告する.

1♂, 北広島町今吉田 (MC : 5132-7326), 7. IIV. 2008, 筆者採集・保管 (図版 1-A)

本種が発見されたのはヒツジグサ *Nymphaea tetragona*, ジュンサイ *Brasenia schreberi*, コウホネ *Nuphar japonicum* などが繁茂するため池 (図版 1-B) で, 日陰にあるカンガレイ *Scirpus triangulatus* の抽水葉に静止していた (図版 1-C). 発見日から 10 月中旬までに再調査を 8 回実施したが追加個体は確認されなかった. 本種の分布については, 幼虫が付着したホテイアオイ *Eichhornia crassipes* の移動による人為的分布拡散の可能性が指摘されている (小坂 2007). しかしながら, 今吉田はいわゆる過疎地であり, 生息が確認されたため池は幹線道から 100 m ほど離れた場所に位置し, 観賞用水草が持ち

込まれた形跡がないことから、採集された個体が人為的移入によるものであるとは考えにくい。山口県中西部では1990年代以降多くの生息地が確認されていることから（三時 私信）、今後、広島県における新たな生息地の追加が期待される。

末筆ながら、山口県内におけるベニイトトンボの生息状況について有益な情報を教示くださり、文献入手の労をとっていただいた山口県立山口博物館の三時輝久副館長に厚く感謝申し上げます。

引用文献

- 原 隆 1994 宇部市におけるトンボの採集と観察 山口県の自然 54：18-24
平田真二 1993 宇部丘陵におけるトンボ相報告<第1報> 山口県の自然 53：29-36
久重克己 1996 ベニイトトンボを光市で採集 ちょうしゅう 9：4
池田 寛 1969 山口県の蜻蛉追記 (I) 山口県の自然 21：22-23
池田 寛 1988 トンボ目 ODONATA 山口県の昆虫：7-15, 60-65 山口県立山口博物館 山口
神垣健司 2004 広島県におけるベニイトトンボの記録 月刊むし 398：45
神垣健司 2006 広島県江田島でベニイトトンボを確認 月刊むし 430：17
環境省 2007 昆虫類レッドリスト URL <http://www.biodic.go.jp/> (生物多様性センター)
小坂一章 2007 ホテイアオイを介して人為的に拡散するベニイトトンボ 山口のむし 6：53-55
宮本詔子・宮本聡史 2008 益田市でベニイトトンボを採集する すかしば 56：45-47
杉村光俊・小坂一章・吉田一夫・大浜祥治 2008 中国・四国のトンボ図鑑 255pp. いかだ社 東京
山口県立山口博物館 (編) 2006 山口県のトンボ 64pls. 52pp. 山口県立山口博物館 山口

2009年2月13日受付；2009年2月19日受理

図 版 1

A：ベニイトトンボのオス，乾燥標本

B：生息環境，広島県北広島町今吉田

2008年8月7日

C：カンガレイに止まるベニイトトンボのオス

2008年8月7日

图 版 1



A



B



C